

特別支援学級 国語科学習指導案

児童 男子1名 女子1名 計2名
 指導者 T1 T2

1 単元名 「クイズを出して低学年と交流しよう」(話す・聞く)

2 単元について

(1) 児童について

本校の知的障がい学級は6年女子1名(A児)、自閉症・情緒障がい学級は5年男子1名(B児)が在籍している。

国語の時間では、それぞれの実態を踏まえた読み取りや漢字の学習などを中心に課題に取り組んでいる。

本単元に関わる児童の実態について、日常の観察から、次のように捉えた。

児童	話す・聞く	読む	書く	語彙力
A児 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> 知っている単語を使ってよく話すが、様子を表す言葉などを正しく使って話すことができないときがある。 連絡や指示が二つ以上になると正確に聞き取れていないときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の教科書の文を正しく読んだり、様子などを読み取ったりすることは難しい。 簡単な物語を音読したり登場人物の気持ちを読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 視写では、時間がかかるが元の文の通りに書き写すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年～中学年程度の語彙力である。 教材文に出てくる言葉は意味を知らないものが多い。 色や形について答えることができる。 言葉が出てこないときにヒントを出すと、その物を想像することができる。
B児 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> 日常の短い指示は聞き取ることができる。 問われていることを正確に聞き取り、話題に合った回答をすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 読めない漢字を除き5年生の教科書の文を読むことができる。 物語文などから、様子や気持ちを読み取ることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 視写などに取り組むことは難しい。 簡単なお礼の手紙などを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年程度の語彙力である。 色や形について答えることができる。 好きな漫画やアニメの中に出てくるキャラクターの名前や台詞などの知識は多い。

以上のような実態から、「A話すこと・聞くこと」においてA児は第3学年及び第4学年の目標を目指し、B児は第1学年及び第2学年の目標を目指している。

(2) 指導にあたって

本校の特別支援学級は知的障がい学級と自閉症・情緒障がい学級の二つの学級があり、普通の国語では別々に授業を行っている。しかし、伝え合う力を付けさせるために、合同単元で国語の教科学習を一緒に行うこともある。今回の単元では、子ども同士の対話の場を設定し伝え合う力を高めるために、あえて二人一緒に学習させることとした。

児童は1学期に「果物・野菜」の中から「いちご」など一つ選び、「色」「形」「味」「大きさ」「何文字か」などの観点から、その特徴を表す言葉を考え、クイズ作りを行った。身近な食べ物の特徴を考え、それを表わす言葉でヒントを作りクイズにすることができた。

しかし、クイズ作りはできたものの、出題の際に相手のことを考えることができず、自分の話したいように話してしまっていた。そこで、相手意識をもたせながら伝える力を高めるために、この単元を設定した。この単元では、休み時間などに一緒に遊ぶことの多い低学年の児童をクイズを出す対象とすることで意欲を高めたい。そして、相手が低学年だからこそ、「分かりやすく伝える」という意識をもたせるようにしたい。そこで、話す事柄を順序立てて話すことや丁寧な言葉を用いること、間の取り方、相手を見て話すことなどを具体的に指導していくこととする。

この単元で用いるクイズは、児童が1学期に作ったものを活用する。単元の導入では、自分たちの伝える力に課題意識をもたせるために、自分たちが夏休み明けに行ったスピーチのビデオを見せ、自分たちのよかった点や課題について話し合わせる。その話し合いで出たつぶやきなどから学習計画を立てていきたい。

他者からの質問に答えるやり取りも、この単元のねらいの一つである。クイズを出す練習の際に答える役となった児童は、相手の話を最後まで聞いてから自分で考えて言葉で応答させるようにしていきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

(A児)

- ・クイズを出すときや説明のときに、低学年の児童に分かりやすく伝えるために、相手を見たり言葉の強弱や間の取り方などに注意したりして話すことができる。

(B児)

- ・クイズを出すときや説明のときに、低学年の児童に分かりやすく伝えるために話す事柄を順序立てることや相手に応じて丁寧な言葉を使うことに気付くことができる。

(2) 単元の評価規準

(A児)

【関】低学年の児童と交流するために、クイズを分かりやすく伝えるための話し方を学ぼうとしている。

【話・聞】クイズを出すときや説明のときに、低学年に伝わるように、相手を見たり言葉の強弱や間の取り方などに注意したりして話している。

【言】クイズの説明やクイズを出すときに、順序を表す言葉を理解して使っている。

(B児)

【関】低学年の児童と交流するために、クイズを分かりやすく伝えるための話し方を学ぼうとしている。

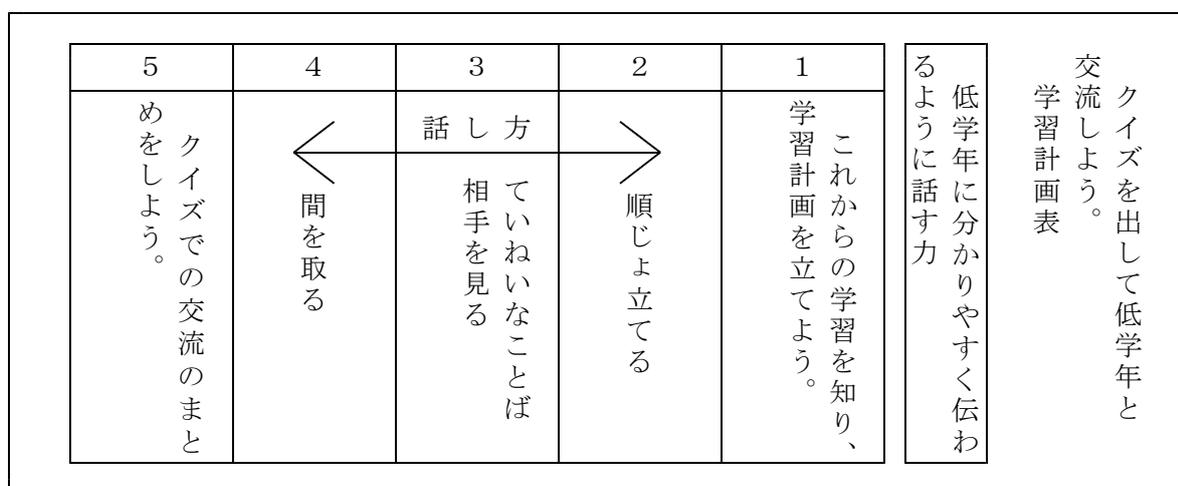
【話・聞】クイズを出すときや説明のときに、低学年の児童が分かるように話す事柄を順序立てることや相手に応じて丁寧な言葉を使うことに気付いている。

【言】クイズの説明やクイズを出すときに、順序を表す言葉を理解して使っている。

4 単元の指導計画（全5時間）

時	主な学習活動	留意点
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの夏休みの思い出スピーチのビデオを見て、話し方について振り返る。 低学年の児童と交流するための学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの話し方でよい点や課題について気付かせる。 1学期に作ったクイズを、低学年の児童に出して交流するときの分かりやすい伝え方を身に付けるという単元の目的をおさえる。 低学年の児童にクイズを出すために、話し方の学習をしていく計画を立てさせる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の児童に伝わるように、クイズの内容を順序立てて話すことを学習する。 クイズを出す説明のために「まず」「次に」などの言葉を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズを順序立てて話す話し方が分かりやすいことに気付かせる。 クイズの説明のために、「まず」「次に」などの順序を表す言葉をおさえる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の児童に伝わるように、クイズを出すときの話し方を考える。 丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気付く。 間の取り方や言葉の強弱などの注意点に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師のモデルを通して、クイズを出すときの話し方でよい点とよくない点に気付かせる。 クイズを出すときの話し方で、間の取り方や言葉の強弱に気を付けると分かりやすく伝わることをおさえる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の児童に出すクイズの説明の仕方を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した、順序立てて話すこと、丁寧な言葉を使う、相手を見る、間を取る、などに気を付けさせ、クイズを出す練習をさせる。
5	<ul style="list-style-type: none"> 実際に低学年の児童にスリーヒントクイズを出して、クイズでの交流のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間を活用して、低学年の児童にクイズを出す。 低学年の児童に分かりやすく伝わるようにクイズを出すことができたか、振り返らせる。

5 学習計画表



6 本時の指導

(1) 共通の目標

- ・自分たちの話し方を振り返り、低学年の児童にクイズを分かりやすく伝え交流するという学習に意欲的に取り組もうとする。
- ・教師と一緒にこれからの学習計画を立てようとする。

(2) 個人の目標

児童	本時のねらい	支援の手立て
A児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの話し方を振り返り、低学年の児童にクイズを出すためには分かりやすく伝えることが大事だと気付こうとする。 ・低学年にクイズを出すための学習計画を立てようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が低学年の児童なので、クイズの説明を順序立てて話さないと伝わらないことにビデオを通して気付かせる。 ・単元のゴールを示して意欲をもたせ、学習計画を一緒に立てていく。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの話し方を振り返り、低学年とクイズで交流するためには自分の話し方で直した方がよい点があることに気付こうとする。 ・低学年にクイズを出すための学習計画を立てようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童にクイズを出すためにはゆっくり順序立てて話す必要があることにビデオを通して気付かせる。 ・単元のゴールを示して見通しをもたせ学習計画を一緒に立てていく。

(3) 展開

時	学習活動	指導上の留意点(・)評価(◎)	教具等
10分	<p>1 学習内容をつかむ</p> <p>(1) 本時の流れを確かめ、見通しをもつ。</p> <p>(2) クイズを出すことを知る。</p> <p>(3) クイズを出す相手を決める。</p> <p>2 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>これからの学習を知り、学習計画を立てよう。</p> </div>	<p>〈手立て1-④〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめボードに学習内容を掲示しておき、事前に把握しやすくする。 ・1学期に作ったクイズを自分たちだけでなく、他の誰かに出すことを知らせる。 ・休み時間に触れ合っている低学年を想起させ、クイズを出す相手として考えさせ意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を掲示したホワイトボード
展開	<p>3 単元のゴールの見通しをもつ</p> <p>(1) 自分たちの話し方のよかった点とよくなかった点を出し合う。</p> <p>(2) 低学年にクイズを出すときの話し方の観点を知り、もう一度ビデオを観て観点ができ</p>	<p>〈手立て1-②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの思い出スピーチの映像を見せて、よかった点と課題について気付いたことを発表させる。 ・低学年にクイズを出すときの話し方の観点(順序立てる、丁寧な言葉、相手を見る、間 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・ビデオカメラ

30分	<p>ていたかどうかを振り返る。</p> <p>4 学習計画を立てる</p> <p>(1) 5時間目にどのような学習をするかを考え、決める。</p> <p>(2) 2、3、4時間目にどのような学習をするか、教師と一緒に考える。</p>	<p>を取る)について例を示しながら理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を一つずつ意識させながら、ビデオを通して、自分たちの話し方を振り返らせ、単元のめあてにつなげる。 ・単元名と身に付けていきたい力をおさえる。 <p>◎自分たちの話し方を振り返り、低学年にクイズを出すための大事なことに気付いている。</p> <p>〈手立て1-③〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空欄の学習計画表を提示し、5時間の学習であることをおさえる。 ・この学習のゴールを確認し、最後は低学年にクイズを出したまとめと振り返りをすることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・話し方の練習が必要なことに板書を通して気付かせる。 ・2～4時間目は、話し方の学習として観点を一つずつ取り上げて学習していくことをおさえる。 <p>【A児への支援】</p> <p>低学年にクイズを出すために説明する力が必要なことに気付かせ、そのための学習計画を立てさせる。</p> <p>【B児への支援】</p> <p>低学年にクイズを出すための話し方で大事なことに気付かせ、そのための学習計画を立てさせる。</p> <p>◎教師の支援をもとに、学習計画を立てようとしている。 (観察・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表
終末	<p>5 学習の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について自己評価する。 	<p>〈手立て1-⑤〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートに記号で振り返らせる。 ・シートに記入後、教師との応答で振り返らせることで、単 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シート

5分	<p>6 次時の確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を見て確かめる。 	<p>元のめあてや、がんばることを意識付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の活動へつながる言葉かけをして意欲付けを図る。 	・学習計画表
----	--	---	--------

(4) 板書計画

5	4	3	2	1	
う。	←話し方	→	を	を	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>クイズを出して低学年と交流しよう。</p> <p>〈クイズ〉 1、2年</p> <p>〈話し方〉 ゆっくり・はっきり わかりやすく・順じよ</p> <p>これからの学習を知り、学習計画を立てよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈学習計画表〉</p> <p>〈身につけていきたい力〉</p> <p>低学年に分かりやすく伝わるように話す力</p> </div>
クイズでの交流のまとめをしよ	間を取る	ていねいな言葉 相手を見る	順じよ立てる	これからの学習を知り、学習計画を立てよう。	